

1. コスタリカ

訪問先：	コスタリカ MAG
日時：	2010年11月29日
面談者（敬称略）：	MAG：Ricardo Wong IC-Net：富岡 JICA コスタリカ：柳原、Silvia、 JICA 筑波：浅野、古田

浅野団長からのあいさつの後、Ricardo Wong 氏よりこれまでの JICA からの協力に対して感謝の辞が述べられた。

【発言要旨】

・Ricardo Wong 氏

- 2008 年ごろから農村開発が省内で力を持った。地域開発の政策として、中米地域開発戦略（ECADERT）が定められている。日本とスペインの協力の下で、テリトリアル・アプローチが進められている。
- 日本は生活改善アプローチを推進しているが、REDCAM を通じて生活改善活動をコスタリカ国内に広げていきたい。そのためには Institution（制度）による支援が必要。次の本邦研修の準高級研修員は普及局長と計画局長が参加するので、制度的な取り組みを進められると考えている。
- 過去の研修員の活動により、生活改善活動は力をつけてきている。REDCAM コースが更新されたら、北部だけでなく南部からも研修員を送りたい。北部だけでなく、全土に広げていきたい。JICA コスタリカと戦略的な人選ができています。コスタリカと日本の協力を強化するための準備ができています。
- 組織強化、社会問題解決（麻薬撲滅）、生産性向上等の課題に対して、生活改善は潤滑油になる。現在は REDCAM で活動しているが、今後は省内に広げていく必要がある。今は private の活動なので、MAG のオーソライズ、文書化が必要。それによって REDCAM もより動きやすくなる。

・調査団より REDCAM コース更新案件の概要説明

→ (Ricardo Wong 氏)：これから生活改善アプローチを広げていくべき。国内 REDCAM が中心となり、自分もサポートする。SICA 内部の農村開発組織において、コスタリカの代表者は自分である。テリトリアル・アプローチの中に生活改善を取り入れて、今後は広めていきたい。また地域 REDCAM は活動内容がバラバラになっているので、SICA の中に入れていきたい。

・(調査団)：「Institution (制度) による支援」とは？

→ (Ricardo Wong 氏)：

1. 給料、移動など燃料費や日当宿泊費の政府による拠出。アンダルシアの開発基金から資金的な支援があるため、それをういた資金的な支援をしたい。
2. MAGの戦略に入れること。REDが実施を担い、GATを広げていく。2011年2月ごろに政策への導入が承認される見込み。政策とは2010年～2030年の20年間の食と農の地域開発計画。この戦略に基づいてMAGの戦略が決まる。現政権のものなのでこれは4年間ぐらいの計画。2012～(2011年2月から作成、11月ごろに完成予定)のMAG戦略ペーパーも作成する。テリトリアル・アプローチの中に生活改善も入ると思う。MAGとして活動が継続できるように、REDCAMを中心に普及員に導入していくことができる。

訪問先：	IICA内CAC事務所
日時：	2010年11月29日
面談者(敬称略)：	CAC: Ricardo Montero IC-Net: 富岡 JICA 筑波: 古田

【Ricardo Montero氏発言要旨】

- SICAの農業分野の実施部門がCAC。
- ECADERT「中央アメリカ地域農村開発戦略(2010-2030)」は各国大臣が承認し、地域委員会がガイドラインを制定しているもの。内容は多岐に亘るが、そのうちの1項目が「生活の質の向上」であり、生活改善アプローチが適用できる。
- テリトリアル・アプローチには、1. 国内のテリトリー、2. 国境付近のテリトリー、3. 国をまたいで異なる地域にいる同一民族をつなぐこと(同一文化)の3つの区分がある。
- その中でコスタリカでは3年前からGATを設置した。コスタリカでは4つのGATが設置されており、他の国も現在形成中。CACはプロジェクトのうち農業関連のものについてGATへ予算配賦している。それぞれのGATは個別に政策を持つが、生活改善はどのGATに対しても適用できる可能性がある。
- CACはスペインから2百万ドル程度の資金協力を受けており、制度構築を担う。IICAは実施上のパートナーで技術を担う。
- コスタリカではCACの協力で北部GATでの一村一品活動が始まり、SVも派遣されている。本邦研修の人材もCACが選ぶ。生活改善や一村一品をテーマに活動すれば、JOCVやSVによるGAT支援が可能。

- 生活改善はお金がかからず、小さく始めてモチベーションを高めるアプローチ。住民の自立性を高めることと、新たな参加者を巻き込む性質がある。
- CACの研修を2011年にエルサルバドルで各国から合計10名程度研修員を招き、研修を実施する。生活改善と併せてJICAと協力することもできるかもしれない。

訪問先：	IICA内CAC事務所
日時：	2010年11月29日
面談者（敬称略）：	CAC：Mario、Oscar、Ricardo Montero IC-Net：富岡 JICA コスタリカ：Silvia JICA 筑波：浅野、古田

【Oscar氏発言要旨】

- CACは中南米7カ国とドミニカ共和国の大臣会議。SICAに含まれている。
- 中南米各国大統領の合意を得て、2008年12月からECADERTを作成し始めた。関係者（女性や先住民のグループ）の希望を聞いたことが特徴。
- 8カ国地域レベル、各国内レベル、ローカルの3つの段階で実施している。実施に当たっては、IICA、FAO、スペイン等から予算上の支援をもらっている。実施はこれからになるが、プログラムはまず研修から行う。

【Mario氏発言要旨】

- この取り組みはプラットフォーム作り。ブラジルやスペイン、メキシコ、コロンビアの活動ネットワークをつなぐ。
- 国境を越えた文化圏や地理的な孤立地域を対象とする。ただしテリトリアル・アプローチは概念的な方法論。
- 対象者やテーマに応じて期間や内容を変えた研修をエルサルバドルで実施予定。特にテリトリアルマネジメントに集中する。
- 研修としては2年間、4ヶ月ごとに1週間行う。サイト視察やベストプラクティスの共有。普及員レベルと意思決定者レベルの2種類コースを用意する。
- 目に見えない成果を重視している。生活改善アプローチは研修の中で使える。北部では実施しているが、他のサイトにも適用できる。ECADERTが枠組みを準備するので、その中でやれるのではないかと。SICAとメキシコなどの会合をやる際にJICAも招待したい。
- 今後CACに生活改善を導入できる。ナショナルコミッションに働きかけたい。

2. オアハカ

訪問先：	Oaxaca, Sta. Lucia Miahuatian
日時：	2010年12月12日
面談者（敬称略）：	SEDESOL <ul style="list-style-type: none"> ・ オアハカ：バズ、ユービア、ネルヒオ ・ 本部：メネス、アナ、イワン・ロドリゲス、オクタヴィオ ・ 南部：アウトラン、ホープ・ロドリゲス、ソシル・ミナス、エドワルド JICA 筑波：古田

【Eduardo氏による活動説明要旨】

1. メキシコの概況

- 東南部に貧困層が集中している。サイトは3か所 Sonora Loma de Bacum（ジャキス族）、San Luis Potosi San Antonio（テネク＝オアステコ族）、Oaxaca, Sta. Lucia Miahuatian（サボテコ族）、サイトは2009年と2010年に準高級コースにおける研修員のコミットメントに基づいている。パイロットプロジェクトは農村地域における生活改善フォーカス（Proyecto: 'Enfoque de Mejoramiento de Vida Rural' KAIZEN）と呼んでいる。
- パナフォックス氏がコミットメントして、2008年から研修を始めた。（2010年度 REDCAM コース研修員である）バズを含めて14名の帰国研修員。14名中2名はSEDESOLにいない。12名で3サイトにおける活動している。そのほかに30名ほどと一緒に活動している。2009年7月から3サイトでスタートした。来年、評価を行う（ペドロリス氏との会合の結果、時期は確定する。）。評価結果により、パナフォックス氏と活動者により何らかの意思決定をする。SEDESOLの公共政策にするかどうか決定される。やるとなれば、マイクロリージョンの機能に変更されることになる。各州事務所に活動をアサインする。
- 3サイトは政治経済的な「リスク地域」といわれている。失業率、移住、家族の離散、識字率、就学率、土地の権利、宗教的対立、アルコール依存症等の面がある。今年、10年おきの国政調整を実施したばかり。結果で1億1200万人の人口。1200万人がアメリカに出稼ぎしているとされる。明日の村でも多くの男性が出稼ぎに行っている。合計特殊出生率は2005年には2.1人。地域によってかなり差異がある。2000年の農村部は3.2人、都市部で2.2人。平均寿命、2005年女性77.9、男性は73歳。1970年には、先住民言語310万人、2000年には600万人。オアハカ、チアパス、ペラクルスなどは3分の2が該当。貧困地域と一致。食糧の貧困度は首都周辺で5.4%、オアハカは38.1%。農村部における給水率62.5%。

- 農村開発政策 60-70 年代に普及員制度が推進された。1 つは SAM (メキシコ食糧システム) を実施した。これによって緑の革命が進められた。これは日本に似た制度であった。あまり成果が出なかったが、現場レベルでの活動経験はできた。農村開発・コミュニティ開発がここから始まったと言える。調査の質問項目はハイネ・ゴメス氏らと作った。チアパス州で住民に質問を投げかけた。住民に投げかけるという点においては生活改善アプローチに似ている。対象住民が意思決定を行うということが共通している。「住民参加型」計画企画と呼んでいる。
- つくば宣言 2009-2010 では「3 サイトで生活改善を応用する。」としている。ハイネ・ゴメス氏、ベルサギジェルモ氏が初年度参加、オクタビオ、エドワードがその後続いた。2010 年の終わりには 15 グループが組織された状態になっているということを用意していた。現在はすでに超えている。少なくとも 26 グループが組織されている。サンルイスポトシ、ソノラではそれぞれ、10 グループ程度が組織されている。同様のコミットメントではリーダーを発掘すること、ジェンダー、救急、手工芸品、自尊心などの分野で活動を進めることが宣言されている。ソノラで応急手当のアイデアがある。マイクロリージョンではパイロットサイトでやったことをほかのサイトに導入することを目指していた。体系化して、文書化する。ワークショップの記録などを体系化、整理してマイクロリージョンや REDCAM の WEB サイトにアップすることで活動の第一フェーズが終わる。

2. 活動報告

- 周辺 36 市における活動の責任者がソシル氏。セルヒア、バズ、ソチ氏らが実際に活動を担っている。各市に 10 弱程度の村があり、1513 人の住民が居住している。山岳地帯なので標高差が大きい。目標グループは SLM 市街地の女性たち。260 人 24 グループ。
- 2009 年 9 月に「わたしの一日」ワークショップにおいて、彼女たち自身で議論することを宿題にした。それを SEDESOL 活動者が筆記した。「何が重要な課題なのか？」について問いかけた。23 グループ中の 22 グループが「自分たちの活動は洗濯場の改善」であり、それまで屈んで洗濯している状況を変えることだった。1 グループは後でできた。各グループに名前があり、「アリ (働きもの)」、「牝牛 (牡牛は働き、牝牛は働かないが、私たちは違う。女性だけが働く。) などがある。女性グループ自身が決定した。

【古田】: たくさん集まっていたでいて感謝。JICA に期待していることはあるか。みなさんの意見を伺いたい。

【Eduardo 氏】

- 日本の専門家にフォローアップしてほしい。サイトを見てほしい。
- 評価をするにあたって。パイロットではなく、マイクロリージョンユニットの通常の活動の一つにしたいと考えている。公共政策の一つになる。
- 生活改善活動の体系化：SEDESOL の考え方としては、第一フェーズはお金をかけない改善活動に特化する。なぜならお金をかける活動はすでに行っているから。現在はまだやりたいアイデアはあるけれども、住民自身で具体化は出来ていない段階。これが具体化され、計画を作れるようになれば第二フェーズ。SEDESOL 専門家による研修や連邦機関への申請へ協力内容を移す予定。

【バズ氏】

- 太田先生の話では、評価はレベル別に行う。まず最初に住民による相互評価。2 つ目はこの結果に基づいた普及。これには女性たちの活動成果を認めることによるモチベーション向上になる。また新たなプロジェクトをやることにつながる。さらに、SEDESOL や地域行政等の機関に対して、生活改善アプローチが成果を出せるということを伝えたい。それによって普及を進めることができる。公共政策のモデルになりうる。
- 私の提案としては、Oportunidades の一つに加えられる。研修メニューに加える。パイロットプロジェクトにだけでなく、機関の活動の中に導入する。社会プロモーターに対して働きかけることができると思う。そのために生活改善の専門家によるサポートが必要。自分のポジションをスタートとして、それが言える。

【オクタビオ氏】

- 以下の3つを今後進めていく。
 1. 2010年にクローズされるパイロットプロジェクトの評価を2011年に行う。
 2. 第二フェーズを実施しなければならない。(このときに専門家の支援が得られたらいい。)
 3. 2013年、2014年ごろに、この地域で何らかのツールを作成する必要がある。テリトリーの観点からこのアプローチを広げるために。すでに関心を示している地域もある。
- サンアウアミトランは8年前に見たが、市役所で昼からみな酒を飲んでいて。行政側のアルコール依存症の人々が多かった。今はゴールと組織されたグループが継続され、女性の活動を見た男性たちも組織している。
- 生活改善アプローチにより、地域行政レベルで計画を作っている現状から、コミュニティと一緒に計画を作るようになる。これにより実施は継続される。
- JICA と SEDESOL がお互いの権利と義務を合意するような文書を作成したい。
- SEDESOL のプログラムで2012年には100万のエコカマドを設置する計画がある。

現在は20万世帯と見込み。かつてSEDESOLが調査してガスカマドやエコカマドが設置されていない家庭を対象としている。

- SEDESOLの水施設(処理場、ごみ処理場)、雨水、エコカマド、電気、住居、公共の学校、コミュニティセンターなどの支援メニューがある。エコカマドは森林減少対策に効果が認められている。サンレイスポシでは大学との協力により、薪の減少への効果を調査中。

【セルヒオ氏】

- 今の活動に満足している。先住民の女性方と活動することによって、自分自身の生活も改善されてきた。女性たちはわれわれから学んだ。我々はファシリテーターの役割を果たしている。今までは女性たちが個別に実施していた活動を、仲間と共有し始めた。縫製、かご作りなど。グループ活動によって、個別の活動がほかの人に波及した。彼女たちは日々忙しいにも関わらず、われわれが思っていなかったような活動を行っている、非常にうれしい。SEDESOLのいくつかの供与型のプログラム(Oportunidadesなど)があるので、入りやすかった。
- 2009年7月からの彼女たちの活動はすべて自分たちのリソースで行っている。今でもモチベーションは高いし、太田先生が行ったことによってモチベーションがさらに上がった。当初は「日本で生まれた考え方のプロジェクト」と話したので、日本人が見に行っただけで非常にモチベーションが上がった。古田訪問に対しても、ぜひ来てほしいという反応があった。

【古田】生活改善アプローチは何が違うのか？

【Eduardo氏】

- 「まずはコミュニティの声を聴く」とSEDESOLのルールにもある。SEDESOLとしては原点に戻るという認識。参加型計画として、今後は支援メニューの一つに入れていきたい。立派な建物を作るが使われない「白い象」プロジェクトが多いが、これを繰り返してはならない。
- 何度も現場に足を運ぶため、時間がかかる。今までの参加型は外部からプロジェクトを持ってきていたが、生活改善アプローチは住民たちに考えさせるプロセスがある。グループ活動は今までも行ってきたが、利益は2、3人だけが享受していた。グループ全員の活動にはなっていなかった。
- コミュニティに接近した。現場にプロモーターが出向くこと。
- 生産性向上のためのプロジェクトはやってしたが、生活改善アプローチはプロセスとして活動を始めていることに意味がある。

訪問先：	JICA メキシコ事務所
日時：	2010年12月14日
面談者（敬称略）：	SEDESOL：ペドロ・ルイス、ナンシー SECAM：サンチアゴ JICA メキシコ：石橋、ラケル、アレハンドロ JICA 筑波：古田

【ペドロ・ルイス氏発言要旨】

- ・ 活動成果の波及のためには、スキームを決める必要がある。各州のマイクロリージョンの活動に適用することを考えている。
- ・ SEDESOL と JICA で 2008 年度の研修員受入時にコミットメントを結んだ。再度同様の協力関係を約したい。
- ・ 農村開発がメキシコにおける JICA の重点分野ではないことは承知している。他の分野との連携も含めてフォローアップを期待している。特に資金的な支援ではなく、専門家派遣による提言など、能力向上に関わる分野での協力の必要性が高い。
- ・ 2011 年にパイロットプロジェクトの評価を行う。その結果を検討し、政策的な導入を図るかどうか決める。

LA GESTIÓN DE DESARROLLO RURAL TERRITORIAL EN COSTA RICA: Antecedentes y Metodología



Territorios Centroamericanos: Comunidades para la Acción Rural

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL



Ministerio de Agricultura y Ganadería



Antecedentes

- *Las primeras iniciativas de Desarrollo Rural nacen en el año 1994, desde la Presidencia de la República.*
- *En el año 1996 hubo iniciativas para crear un Ministerio de Desarrollo Rural, las cuales no tuvieron respuesta positiva en la Asamblea Legislativa.*
- *En el año 1997, la función de desarrollo rural se traslada al MAG por Decreto Ejecutivo No. 26246-MP-MAG, del 22 de agosto de 1997.*
- *En el año 1998 se firma un Convenio de Cooperación Técnica y de Apoyo Administrativo IICA/MAG-PDR, el cual fortalece la operativa del Programa. El convenio terminó el 31-12-2009*

Antecedentes

- *A partir del año 2005 el MAG mediante el PDR adopta y adapta el enfoque territorial en la gestión del desarrollo rural.*
- *En el 2006 se incorporan los proyectos territoriales dentro del Plan Nacional de Desarrollo 2006-2010.*
- *Los territorios se definieron sobre la base de los cantones con menor IDSH. Se trabaja en nueve de los cantones más vulnerables del país.*
- *A partir del 2009, se incluye el enfoque de Mejoramiento de Vida del Japón como complemento a la gestión territorial.*
- *A partir del 2010, se inicia la implementación de la Estrategia Centroamericana de Desarrollo Rural Territorio y la Política de Estado Costarricense sobre Gestión Territorial.*



CANTONES PRIORITARIOS CON GESTIÓN DE DESARROLLO RURAL

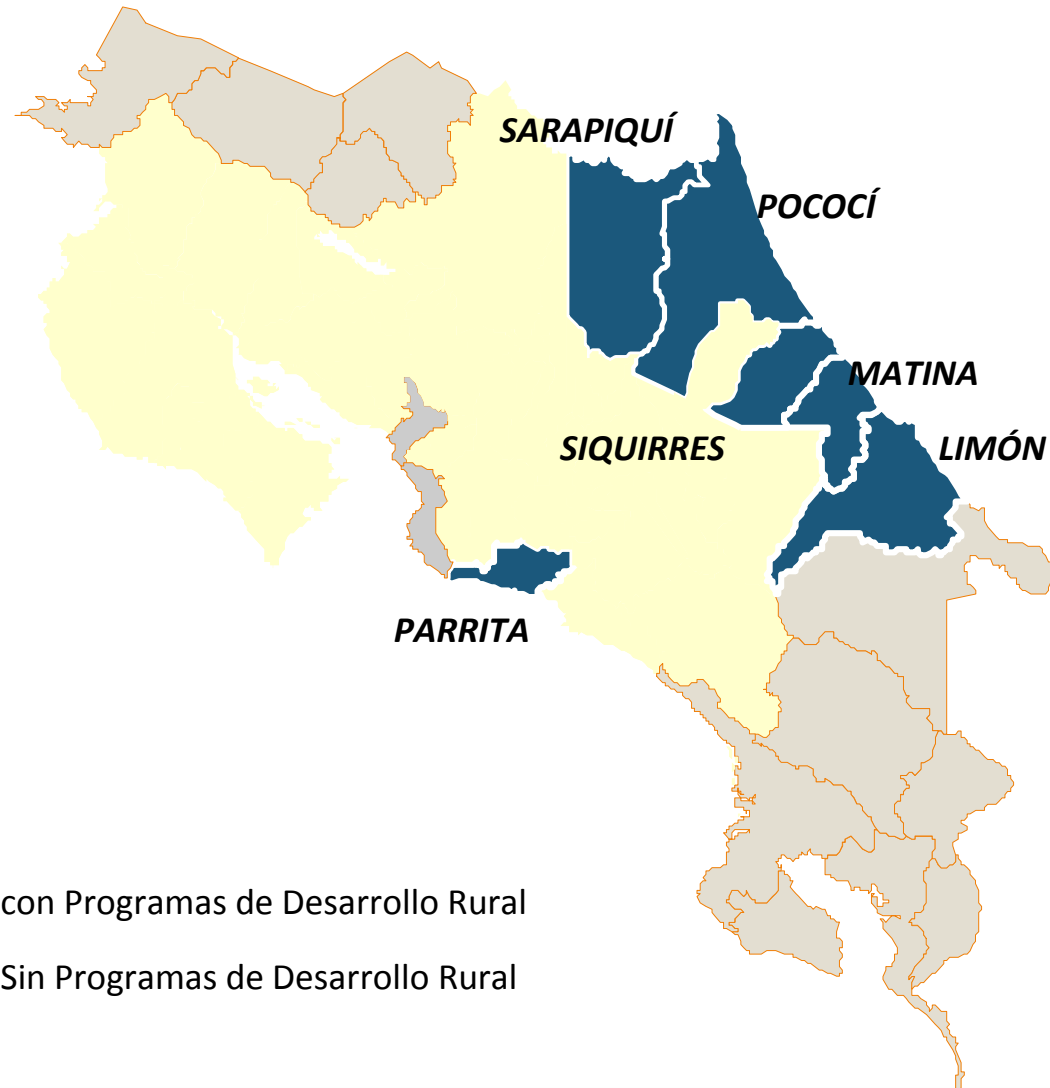




DEFINICIÓN DE LOS TERRITORIOS



15 DE LOS CANTONES MÁS VULNERABLES

PRIORIDAD DEL GOBIERNO



-  Cantones con Programas de Desarrollo Rural
-  Cantones Sin Programas de Desarrollo Rural


A photograph of a sunset over a body of water. The sky is filled with orange and yellow clouds, and the sun is low on the horizon. In the foreground, two people are silhouetted in a small boat on the water. The water reflects the colors of the sunset. The text is overlaid in the center of the image.

El Proceso Metodológico para la Gestión de Desarrollo Rural Territorial

Proceso Metodológico para el Abordaje del DRT






 Territorios Centroamericanos: *Comunidades para la Acción Rural*

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL

Caracterización o Estudios de Línea Base de los Territorios



 Territorios Centroamericanos: *Comunidades para la Acción Rural*

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL

Todo inicia desde la Política de Estado o Plan Nacional de Desarrollo...

- *Se definen los cantones prioritarios según la Política de Estado o Plan Nacional de Desarrollo. Un criterio de selección puede ser el IDHS (Índice de Desarrollo Humano y Social).*
- *Se constituye el Equipo Técnico Facilitador del proceso:
“Personal técnico de las instituciones públicas, ONG’s y Organismos Internacionales, presentes en los cantones seleccionados, con funciones relacionadas con el desarrollo rural, liderados por el MAG”.*
- *Se define, en forma preliminar, un territorio meta para iniciar el proceso de caracterización o estudios de línea base.*

- Es como si se definiera un mercado meta...



- En un proceso de DRT, el territorio meta te permite realizar...



- *Se realizan foros o talleres de capacitación con los actores estratégicos, sobre desarrollo rural territorial.*
- *La información recopilada en el proceso de caracterización, se analiza junto con los actores estratégicos, con el fin de lograr la definición de un territorio final.*

Entonces, se conceptualizar el territorio como...

Una unidad geográfica compuesta por un tejido social propio, que se encuentra asentada en una base de recursos naturales, que presenta ciertas formas de producción, consumo e intercambio, y que está regida por instituciones y formas de organización particulares, las cuales dan origen y a la vez expresan una **IDENTIDAD** y un sentido de propósitos compartidos por múltiples agentes públicos y privados.




 Territorios Centroamericanos: *Comunidades para la Acción Rural*

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL

Constitución y Fortalecimiento del Grupo de Acción Territorial



 Territorios Centroamericanos: *Comunidades para la Acción Rural*

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL

Grupo de Acción Territorial

- *Es la agrupación de los diferentes actores estratégicos del territorio.*



En esta fase del proceso metodológico...

- *Se realizan actividades de promoción y vinculación con los actores estratégicos del territorio.*
- *Se realizan foros y talleres para la constitución del Grupo de Acción Territorial.*
- *Se propician los espacios para la constitución de la Junta Directiva y se legaliza el GAT.*
- *Se inicia con el proceso de capacitación y fortalecimiento del GAT y sus líderes.*
- *Se incorpora el modelo KAIZEN en el trabajo comunitario.*



Red Nacional de Desarrollo Rural Participativo: COSTA RICA

I Esquema de Intervención 2009-2010

Acercamiento al Mejoramiento de Vida

Seguimiento

V
Nivel

En proceso la elaboración del Plan de
Mejoramiento Comunal y Familiar.

IV
Nivel

Elaborar Plan de Acción a nivel familiar y
comunal para el mejoramiento de vida en su
conjunto de las comunidades seleccionadas.

III
Nivel

Identificar elementos particulares o exclusivos de la
jornada diaria entre hombres y mujeres que permita
la ejecución de acciones para el mejoramiento de
vida

II
Nivel

Identificar (describir) la situación pasada, presente y futura
de la comunidad que permita la ejecución de acciones para
el mejoramiento de vida a nivel familiar y comunal.

I
Nivel

Identificar acciones para el Mejoramiento de Vida
(KAIZEN) a nivel familiar y comunal con base a los
tres niveles para el Mejoramiento de Vida

Introducir elementos del enfoque de
Mejoramiento de Vida (KAIZEN) con base a la
realidad local de las comunidades seleccionadas.



 Territorios Centroamericanos: *Comunidades para la Acción Rural*

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL

Planificación del Desarrollo



 Territorios Centroamericanos: *Comunidades para la Acción Rural*

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL

Es una de las fases fundamentales del proceso metodológico...

- *Se define un Plan de Trabajo de las Comisiones (ejes de trabajo o mesas de negociación). La experiencia empírica sugiere que estas comisiones sean:*
 - *Producción*
 - *Infraestructura Pública*
 - *Ambiente*
 - *Social y Educación*
 - *Cultura*
- *Se definen las demandas del territorio.*
- *Se formula el Plan Estratégico de Desarrollo*

Marco Lógico del Plan Estratégico de Desarrollo

MISIÓN

OBJETIVO CENTRAL

¿Cuáles son los Factores Claves de Éxito para lograr la Visión?

ANÁLISIS FODA
Formulado sobre la base de las perspectivas definidas

PLANIFICACIÓN ESTRATÉGICA

PROCESO ESTRATÉGICO

PERSPECTIVAS ESTRATÉGICAS
"RETOS ORGANIZACIONALES"
¿Hacia dónde queremos ir?

OBJETIVOS ESTRATÉGICOS
¿Qué hacer ?

PROYECTOS ESTRATÉGICOS
¿Cómo lograremos los objetivos en el corto, mediano y largo plazo?

PLANES OPERATIVOS


→ **PRESUPUESTOS**

VISIÓN

CONDICIÓN FUTURA DESEADA

INFRAESTRUCTURA PÚBLICA
AMBIENTE
PRODUCCIÓN
SOCIAL Y EDUCACIÓN, entre otros




 Territorios Centroamericanos: *Comunidades para la Acción Rural*

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL

Formulación y Ejecución de Proyectos y Acciones del PEDE



 Territorios Centroamericanos: *Comunidades para la Acción Rural*

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL

El Plan Estratégico de Desarrollo (PEDE) es la base...

- *Para definir el Programa de Desarrollo.*

“Un plan estratégico de Desarrollo puede generar varios programas de desarrollo”.

- *Gestión de los Recursos de Inversión.*
- *Seguimiento y Monitoreo de Proyectos.*

Gestión de Recursos de Inversión

Institución u organismo
cooperante

Se negocia



Programa de Desarrollo del
PEDER

Canaliza los recursos
financieros

Administrador de los
Fondos (instancia
ubicada en el territorio)

Canaliza los
recursos hacia:

PROYECTOS

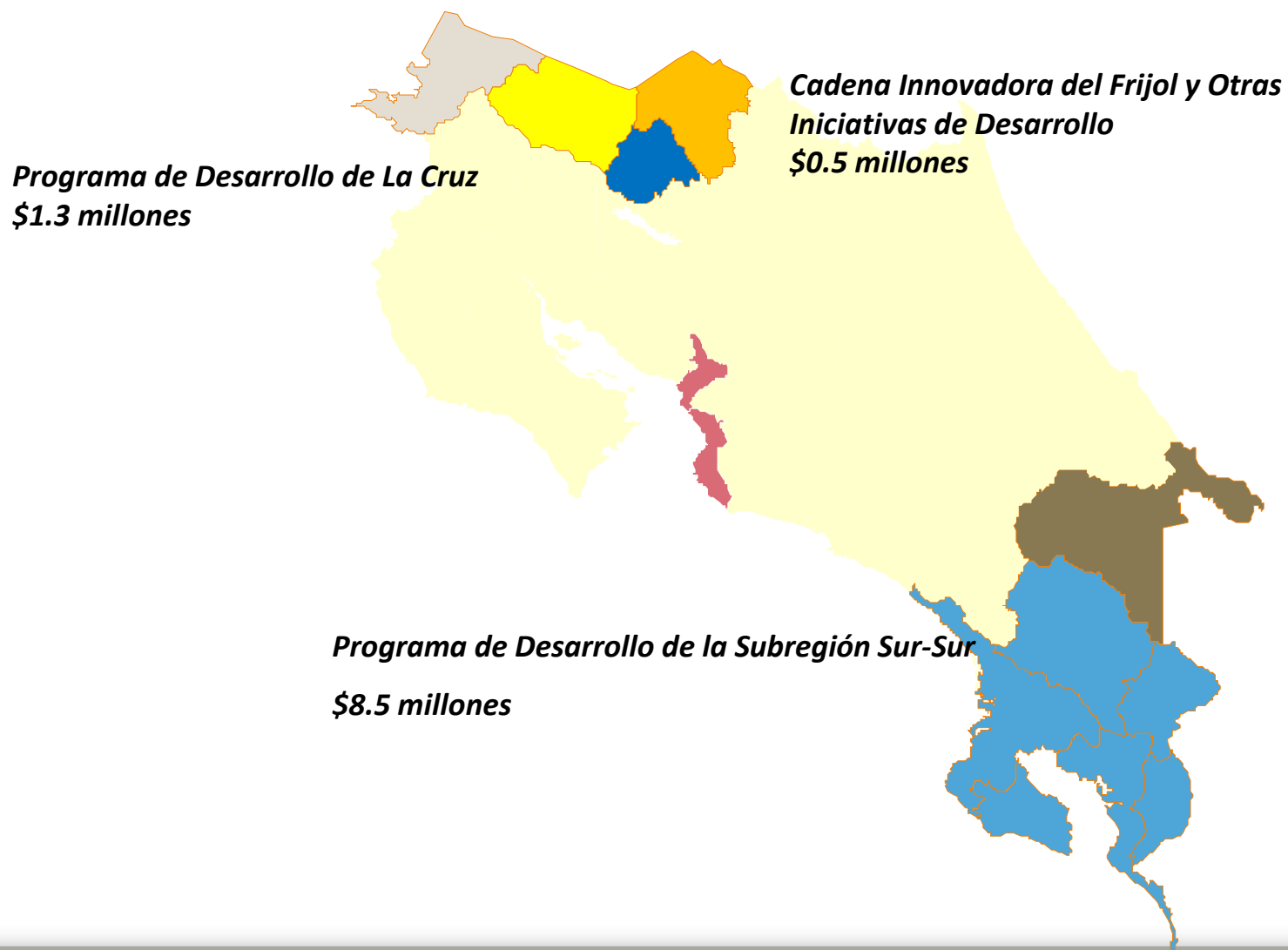
Productivos

Infraestructura
Pública

Fortalecimiento
Organizacional

Sociales

PROGRAMAS ACTUALES DE DESARROLLO EN LOS TERRITORIOS






 Territorios Centroamericanos: *Comunidades para la Acción Rural*

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL

Sistematización de las Experiencias



 Territorios Centroamericanos: *Comunidades para la Acción Rural*

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL

Gestión de Desarrollo Rural Territorial

INSUMOS
(Antecedentes,
acontecimientos,
entre otros)

**PROCESO
METODOLÓGICO**

RESULTADOS
(Aprendizajes,
errores, éxitos y
mejoras)

SISTEMATIZACIÓN

**Réplicas en otros territorios,
referencias bibliográficas o mejoras al
proceso metodológico**




 Territorios Centroamericanos: *Comunidades para la Acción Rural*

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL

Sostenibilidad del GAT



 Territorios Centroamericanos: *Comunidades para la Acción Rural*

EXPERIENCIAS DE DESARROLLO TERRITORIAL RURAL

El GAT no debe ser una iniciativa de corto plazo, debe perdurar en el tiempo. Por lo tanto, es importante...

- *Constituir una Unidad de Gestión para el GAT.*
- *Generar fuentes de financiamiento para la autogestión del GAT.*
- *Negociar con las municipalidades apoyo administrativo y operativo.*
- *Fortalecer la vinculación del GAT en el territorio.*

Estado de Madurez de los Grupos de Acción Territorial según Proceso Metodológico

GAT de LA CRUZ



**Plan Estratégico de Desarrollo:
Formulación y ejecución de proyectos y acciones del PD**

**GAT'S HUETAR NORTE
(Guatuso, Los Chiles y UPALA)**



**Plan Estratégico de Desarrollo:
Formulación y ejecución de proyectos y acciones del PD**

**GAT PACÍFICO CENTRAL
(ADETSAS)**



Planificación del Desarrollo por parte del Territorio

GAT'S SUR - SUR



**Plan Estratégico de Desarrollo:
Formulación y ejecución de proyectos y acciones del PD**

Perspectivas de corto, mediano y largo plazo

A partir del 2011:

- Integrar y coordinar esfuerzos y recursos entre el MAG y otras instituciones, para la implementación de la ECADERT y la consolidación de los procesos territoriales actuales.
- Implementar la Política de Estado en su componente Gestión Territorial.
- Continuar con la implementación del Enfoque de Mejoramiento de Vida del Japón.



■ *Crear oportunidades y desarrollar capacidades para la inclusión*



Parte de la implementación de la Estrategia Centroamericana de DRT es definir...

TERRITORIO TRANSFRONTERIZO COSTA RICA-PANAMA



Un eventual territorio transfronterizo,
que puede ser una realidad



GRACIAS